

## 青島大学での留学生活

### 1. はじめに

1年生のころから中国語を履修しており、中国語を話すこと、学ぶことに面白さを感じたため、また自らの成長を図るために中国への交換留学を志願した。そして2019年2月25日、福岡国際空港から青島流亭国際空港行きの飛行機に乗って出国した。本レポートでは、青島市、青島大学での留学生活について述べていく。

### 2. 青島大学

青島大学は中国の山東省中部に位置する青島市にある。青島市は比較的都会で、中国の中でも生活しやすい場所だといわれている。青島大学には、工学、理学、医学等様々な学部が存在し、校内は山口県立大学よりはるかに広く、コンビニやスーパーマーケット、文房具屋や床屋等があり、運動をする場所も多くある。



写真1. 青島大学の正門

### 3. 寮生活



写真2. 食堂の様子

アドバイスから冬の寒さに耐えるために南向きの部屋を選んだ。

寮の部屋はその部屋ごとに内装が多少異なり、机とベッド、サイドテーブル、共用の棚とクローゼットがある。お風呂は浴槽がなく、シャワーのみだ。隣にはトイレと洗面台があり、仕切りがないためシャワーを浴びる際にはトイレは濡れてしま

私たち留学生はほとんどが大学の寮で生活しており、またそのほとんどが2人部屋だ。寮には敏行楼と新楼の2つがあり、私たちは敏行楼に入寮した。入寮の際に日本人と同室になるかほかの国の留学生と同室になるか選ぶことができたが、私はトラブル等をできるだけ避けるために日本人と同室になった。着いたその日に1年間分の寮費を支払った。部屋は南向きと北向きで値段が違うが、先輩方の



写真3. 敏行楼

う。またずっとお湯を出しっぱなしにしていると水になってしまうため、流しっぱなしにしないよう心掛けている。洗濯機は共同で、寮の1階に10台ある。1回につき5元かかる。Wi-Fiは初めのうちはなかったため、寮の1階にあるセブンイレブンでフリーWi-Fiを使用して連絡を取っていた。

#### 4. 入学手続き

2月26日、朝8時半から寮の1階にある弁公室にて入学手続きを行った。書類を出す、サインをする等の簡単なものばかりで、あまり時間をかけずにスムーズに行うことができた。中国語は全く話せなかったため、英語での手続きだった。クラスは自分で決めると先輩から聞いていたが、自分たちで決めることはできず、手続きの際に中国語を読んで決められた。しかし初めの1週間のみ他のクラスで授業を受けることができ、自分の能力に応じてクラスを変更することができる。日本人はオーラルコミュニケーションが苦手な人が多いため、中国語ができないと思われがちだが、基本的にリーディング、ライティングは他の留学生より優れているため、授業においてはちょっと難しいくらいのレベルで受けるべきだろう。現代社会ではSNSが世界的なコミュニケーションツールとなっており、リーディング、ライティングも極めて重要であるため、引け目を感じる必要はない。



写真4. 办公室

#### 5. 授業

2月28日、朝7時50分に寮の前に集合し、図書館の前で留学生全体の写真を撮影した。その後2019年春季学期外国留学生開学典礼に出席し、大学生活での注意事項等を聞き、式終了後にクラスごとに分かれて教室へ向かった。私は最初に指定されたクラスから1つ上げて103Bクラスに属している。103では初級総合、初級口語、聴力の3科目を履修している。授業は午前中のみで、朝8時半から始まり、50分授業が4コマ、授業の合間には10分休憩があり、12時20分に授業が終わる。午後からはカンフーやお茶等の文化に関する授業を選択することもできる。クラスは12人程度で私のクラスには、日本人、韓国人、インドネシア人、フランス人、ウルグアイ人がいる。少人数授業なため、クラスメイトとも仲良くなり、楽しい留学生活を送れている。



写真5. 教室

#### 6. 口座開設

中国ではキャッシュレス化が進んでおり、会計の際にはほとんど支付宝 (Alipay) か微信 (Wechat) が使用されている。それを使用するた

めに、中国で口座を開いた。日本人は中国銀行でしか開設できないという話を聞いていたが、他の銀行でも開設することができ、私は中国建设银行で口座開設をした。口座開設にはパスポート（ビザ）、中国で利用できる電話番号、マイナンバー（控えでも可）が必要だった。私が行った中国建设银行は日本語が話せる従業員がいたため、スムーズに手続きを進めることができた。口座開設の流れは日本ときほど違いはなかった。

#### 7. 最後に

中国にきてまだ1か月半しか経過していないが、手続きもすべて終え、落ち着いて楽しく留学生活を送れている。生活にも慣れ、自身の中国語能力が伸びているとも感じる。今後もっと多くの人と話して様々な経験をして、自らを高めていきたい。



写真6. 青島の街並み